

「テレビ視聴データ連携に関する共同技術検証実験」について

朝日放送テレビ株式会社、株式会社毎日放送、関西テレビ放送株式会社、読賣テレビ放送株式会社（以下「参加放送局」）は、関西地区のインターネットに接続されているテレビを対象に、各社個別に収集している視聴データ（視聴中のチャンネル情報や番組の視聴時刻情報など特定の個人を識別できない情報）について、放送局間での連携を目的とした共同技術検証実験（以下「検証実験」）を下記の要領で実施いたします。

※検証実験では特定の個人を識別することができない措置を講じています。

1. 検証実験の参加放送局

朝日放送テレビ株式会社
株式会社毎日放送
関西テレビ放送株式会社
読賣テレビ放送株式会社

2. 検証実験のための視聴データ集約期間

参加放送局は、以下の期間の視聴データを集約・検証いたします。

2021年10月4日～2022年1月6日

※上記の期間中であっても、一部の番組または一部の機器については視聴データを集約しません。

3. 検証実験で取り扱う視聴データ

参加放送局が検証実験で取り扱う視聴データは以下の通りです。

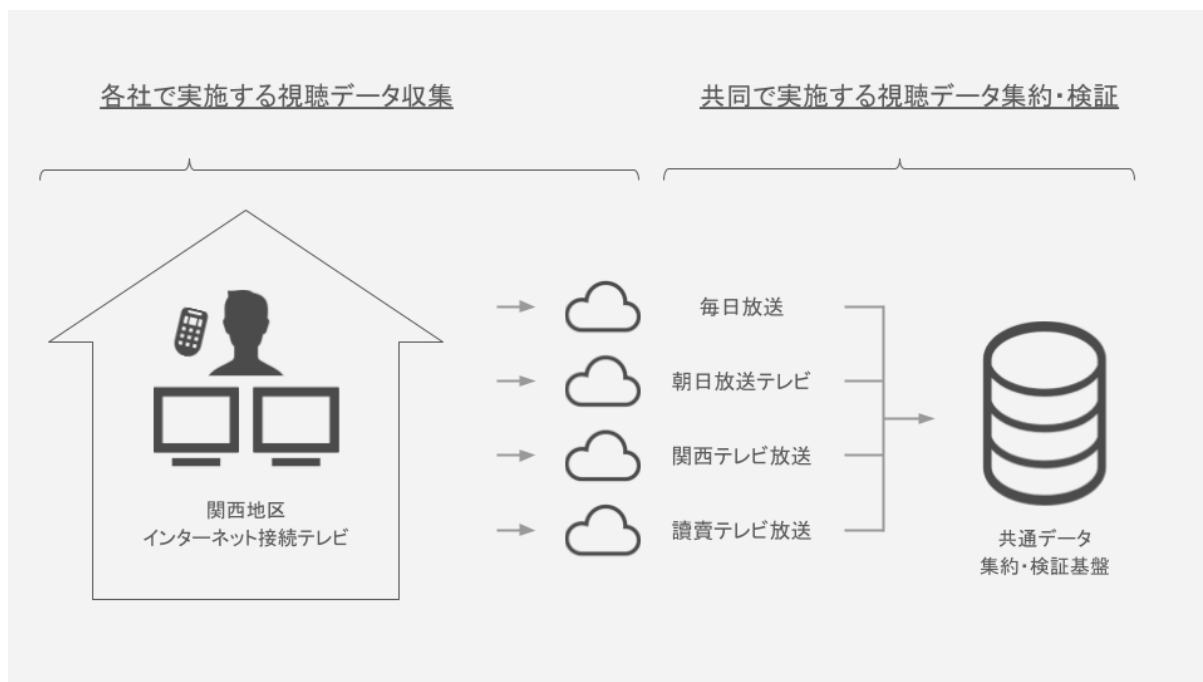
- 視聴中の参加放送局のチャンネル情報
- 番組の視聴時刻情報
- IPアドレス
- テレビ受信機に設定されている郵便番号
- テレビ受信機を識別するための情報

※各社が個別に収集している視聴データおよび検証実験で取り扱う視聴データは、特定の個人を識別できる情報を含んでいません。

※B-CAS カード ID や製造番号等は取得していません。

※検証実験で取り扱う視聴データは、インターネット回線を利用して収集しますので、検証実験の対象となるのは、インターネットに接続している関西地区のテレビ受信機のみとなります。

※参加放送局以外の視聴や、録画による視聴は含まれません。



4. 視聴データの保管場所

集約する視聴データは日本国内のサーバーに保管されます。

5. 検証実験にて集約した視聴データの利用目的

今回の検証実験のために集約した視聴データは、以下の目的で使用します。

- 参加放送局間での視聴データ連携実現に必要な技術検証
- 放送サービスの向上とより良い番組制作への活用

6. 検証実験で集約した視聴データの利用方法

検証実験で集約した視聴データは、「オプトアウト方式で取得する非特定視聴履歴の取扱いに関するプラクティス(ver2.1)」に則って、参加放送局が持つ個人情報を含まないデータ（視聴中のチャンネル情報や番組の視聴時刻情報など特定の個人を識別できないデータ）を組み合わせ、前項の目的のために利用する場合があります。参加放送局は、この過程で特定の個人を識別することができないようにする措置をとっています。

7. 共同技術検証実験

参加放送局は、それぞれ自局で放送する番組の視聴データを個別に収集しています。検証実験では個別に収集された各社のデータを以下のとおり集約・検証いたします。

- 検証する視聴データの項目
「3.検証実験で取り扱う視聴データ」に記載の項目と同じです。
- 検証する者の範囲
「1.検証実験に参加する放送局」に記載の参加放送局です。
- 検証する者の利用目的
「5.検証実験にて集約した視聴データの利用目的」に記載の利用目的と同じです。
- 共同技術検証実験に関する責任者
株式会社毎日放送

8. 第三者提供

視聴データそのものを、第三者に提供することはしません。なお、視聴データを統計処理した検証結果を第三者に提供する場合があります。

9. 視聴データの消去について

検証実験のために集約した視聴データは、2022年9月30日までに全て消去します。

10. 検証実験における視聴データの送信を停止したい場合

各社が個別に収集する視聴データの送信停止を行ってください。停止の方法は各社ごとにデータ放送およびホームページ等に掲載していますのでご参照ください。

朝日放送テレビ株式会社 <https://www.asahi.co.jp/optout/>

株式会社毎日放送 <https://www.mbs.jp/mbs/kojin-j/>

関西テレビ放送株式会社 <https://www.ktv.jp/shichodata/>

讀賣テレビ放送株式会社 <https://www.ytv.co.jp/privacy/tvdata/>

11. 視聴者からのお問い合わせ先

検証実験に関するお問い合わせは、以下のお問い合わせフォームからお願いいたします。

お問い合わせフォーム：

<https://entry.mbs.jp/form/9bc2d75c-eed3-42d5-991f-a3e060cc4cbc>